

なかしゅんべつ

2009

11

No.382

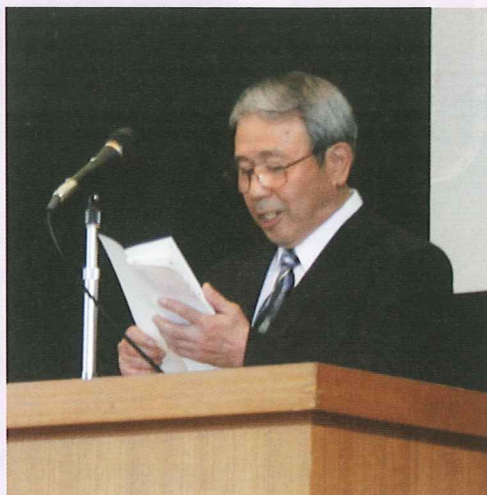


美原地区開基50周年記念式典・祝賀会

旧美原小学校体育館において多くの地域の方々が集うなか開催され、地域の歴史を振り返り益々の発展に思いをはせられました。

去る10月10日、旧美原小学校体育館において美原地区開基50周年記念式典が地域の方々を始め多くの関係者が出席するなか開催されました。

美原地区開基50周年記念式典



再認識するとも昔話に花を咲かせておりました。

当日は、美原子童太鼓保存会発足20周年記念式典も同時に開催され、迫力ある太鼓の演奏が会場内に響きわたり太鼓を演奏する姿に会場全体が魅了され、力強く太鼓を叩く子供達の姿がとても印象的で、大きな拍手が沸いておりました。

式典の開催に先立ち地域の歴史を振り返るとともに開拓へ尽力された多くの先人の方々へ黙祷がささげられ開会となりました。

式典では地域の発展に貢献された16人の方々に対し、美原連合町内会長・売場利國氏より感謝状が贈呈されました。

祝賀会では料理を囲みながら地域の歴史を今一度、

祝賀会も終盤にさしかかり美原地区開拓の歴史をふり返るDVDが上映され、入植当初から現在に至るまでの歴史をふり返ると共に参加された地域の方々には地域の更なる発展へ思いをはせられたことでしょう。

ふり返りさらなる発展へ





地域の歴史を



農協法公布記念日にあたって



北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 稔章

昭和22年11月19日に農業協同組合（農協法）が制定され62年目を迎えました。

制定当時は戦争の傷跡が生々しく、日本全土が荒廃する中で、国民の食料は不足し、食料確保の必要性と併せて農民の自主的立場を確立するために農村の民主化が最重要課題でありました。

このような時代背景の中から農協法が施行され、全国各地で農協が設立され、現在に至っております。

農協は農地改革によつて生まれた自作農を基本とした「農民の農民による農民のための」組織として、人々が連帯し助け合うことを意味する「相互扶助」の精神のもとに組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的とした協同組織です。

農協法が制定されて以来、経済情勢や社会環境の変化に合わせてJ Aの事業展開や組織運営手法の变革が求められ、時代に即した法改正によつて、組合員の社会・経済的地位の向上に大きな役割を果たして参りました。

今、私たちは21世紀の初頭を歩んでいますが、世界に目を向けますと金融危機、食料需給のひっ迫、地球温暖化・環境問題などが深刻化し、いまだに解決の糸口を見いだせない状況に

あります。

国内的には市場原理の名のもとに行き過ぎた競争社会のひずみが格差社会を生み、年金問題などと相まって、国民の中に不安が増大しています。このような時代に自主・自立・相互扶助精神に基づき共生の社会をめざす協同組合組織に対する期待はますます大きくなっています。

私たちは「第25回J A北海道大会」において、「共に創る、北海道農業と新時代」をテーマに、組合員とともに多くの国民の信頼と支持を得て新たな時代に積極果敢に挑戦するJ Aを目指すことを決議し、実践しております。また、本年は「第26回J A北海道大会」を開き、「協同の力で築くあすの「食」をささえる北海道農業」をテーマに、組合員に基軸を置き、北海道農業・J Aが抱える様々な課題の打開と地域と消費者に対して果たすべき役割を踏まえ、新たな基本方針を制定することとしています。

今後ともW T O農業交渉、景気低迷など厳しい情勢が予測されますが、組合員、役員皆様が農協法の目的と意義を再確認して、J Aが地域農業・農村振興の司令塔としての役割を發揮し、充実した組織として益々発展するよう共に頑張りましょう。

中春別年金友の会

秋季旅行

中春別農協年金友の会(会長・渡邊栄頭)では、10月8日から10日の2泊3日で川湯温泉へ観楓旅行に行ってきました。

「1日目」 参加者41人、大型バスに乗り込み川湯温泉に向け出発。紅葉が始まった景色を眺め、片手にビールで旅はスタートしました。今にも降り出しそうな雨が心配でしたが川湯駅前パーク場で14人元気にプレイしてきました(ちなみに優勝は平林さん)。

観光組は砂湯を見学し、早めにホテルに入り宴会ま

ゆつくりのんびり 楽しんでできました

内心は
台風が心配で...



での間、温泉に浸かりゆつくりしてもらいました。
渡邊会長の乾杯を合図に宴会はスタート。おいしい鍋を食べ、カラオケ大会も盛り上がり、支配人(カラオケ全国大会出場経験あり)も感謝の気持ちを込めて歌ってくれました。一次会で物足りないメンバーは、娯楽室へ向かい明日の天気祭りを続行。

「2日目」 今年厚岸かき

まつりへ。川湯の天候は大荒れでしたが、天気予報を熟知した参加者は、厚岸に着く頃は風は弱まると判断し出発。なんと、風が弱まり、雨まで止みました。まつりは中止でしたが、別会場でかき・さんま・ほたて・アサリ汁をお腹一杯食べ、厚岸市場でおみやげを買い、無事川湯に戻りました(事務局一安心)。

最終日の宴会は、ホテル提供の豪華景品があたるピンゴゲーム(皆さん少年・少女の盛り上がり)。カラオケあり、ダンスありで盛り上がり終了。
台風の影響が心配な旅行でしたが、日頃の精進が良く無事行程を終了することができました。
寒さが厳しくなり、新型インフルエンザも心配ですが、健康には留意し11月開催のお楽しみ会もぜひ参加してくださいませようお待ちしております。

10月4日から10月8日（4泊5日）で、役員11人・事務局2人によりオリオン株式会社本社・JA全国大会（北陸・関東）の視察研修が予定されましたが、台風18号の影響により急遽1日短縮し、10月4日から10月7日（3泊4日）で実施しました。

オリオン株式会社 視察

第25回 JA全国大会

世界No.1の製品開発に挑戦 大転換期に突入したJA

オリオン株式会社本社・工場を視察

10月6日、長野県須坂市のオリオン機械株式会社を視察しました。小林社長に工場内の案内をいただき、部品の製造から組立完成までの課程を見学させていただきました。

オリオン機械株式会社では、世界ナンバーワン製品の開発に挑戦し、酪農機器（キャリアロボ・ロータリーパーラー・密閉型バルククーラー・バンクリーナー・自記温度計など）、除湿乾燥機などそれぞれ国内トップシェアを誇っています。搾乳機器では、**ティートクリン**（乳頭清拭装置）①だれでも簡単にできる。安定した清拭作業。



② 乳頭口付近の汚れを除去し、乳防炎リスクを軽減。
③ シリコン製専用ブラシで、マッサー効果向上。

自動洗浄機能付バケツト ミルカー

① ミルキングシステムの自動洗浄サイクルを利用して、ミルククロー、ミルクチューブ、バケツト缶を洗うことができる。
② 2方向へ分流し、洗浄水を入れることにより、バケツト内部を洗浄する。
③ チューブ内部が見えることにより、衛生管理が向上する。



パスタライザー（初乳移行乳過熱装置）

① 60度c・30分で殺菌すること、疾病リスクの低減。
② 加熱処理により、下痢のリスクを大幅に低減。
③ 栄養分が豊富な移行乳を、加熱処理して哺乳すること、代用乳の購入



費を大幅に節約。



役員道外視察研修報告

期待されるJA

10月7日には第25回JA全国大会が横浜市のパシフィコ横浜を会場にJA関係者4,000人が集まり、大会スローガンの「大転換期における新たな協同の創造」をテーマにした記念シンポジウム、分科会が開催されました。

あいにく非常に強い勢力を保ったまま接近中の台風18号が上陸するとの予報で、研修行程を変更し、午前中に開催されました記念シンポジウムのみの参加となりました。



大転換期に突入したJAの課題

○米国型の市場原理主義への過度な偏重を見直す動きの強まり、協同組合理念に基づく事業・活動が再評価される環境が醸成。

○世界的な食料需給の逼迫と農地制度の見直し、食料・農業・農村基本計画の見直しなどが国農業政策の転換期に突入。農業団体としてのJAに中核的役割発揮の期待の高

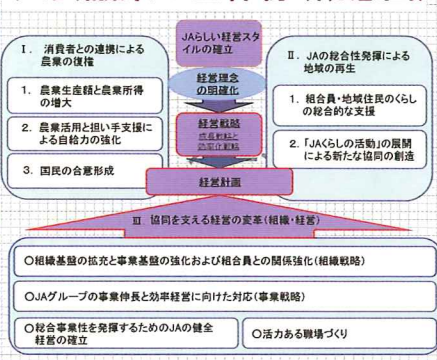
継者不足、販売農家の減少など正組合員基盤の脆弱化と准組合員の増加。JA組織・事業基盤の見直し強化が必要。

○長期にわたる事業量の減少傾向と平成の広域合併・経済事業改革による合理化効果の一巡。万全な経営対策が喫懸の課題。

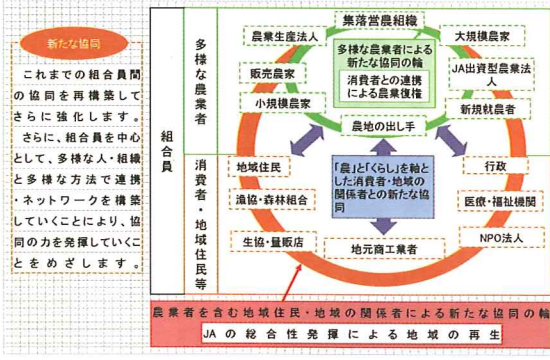
○地域経済の格差拡大・農村経済の疲弊と「豊かな暮らし」「生活の安定」「医療・福祉」などに対する国民ニーズの拡大。農を基軸とした地域の共同組合としての役割発揮の高まり。

○高齢化と後

大会議案の全体像(概念図)



大転換期における新たな協同の創造



大会議案づくりに参画した、農林中金総合研究所顧問の野村一正氏、キリンホールディングス(株)相談役の荒蒔安一郎氏、タレントの大桃美代子氏がパネリストを努めました。

野村氏は「国民にJAの活動を知ってもらおう。国民はJAに対する期待度は高いが、JAの顔が見えない。情報発信の必要性がある」と指摘。

荒蒔氏は、「農業をやりたいと思っている若者をひきつけることが必要であり、新規就農者に対し、温かい対応が必要である」と述べられました。

最後に大桃氏は、自ら取り組んだ古代米の販売体験を紹介。また、「地域農業やJAが発展していくために、女性部の活動を期待している」と述べられました。

台風18号の影響により、1日短縮し13人無事帰ってきましたが、JA全国大会での大会スローガン「大転換期における新たな協同の創造」を考える必要があり、国民に期待されるJAは、JA活動を深く知ってもらうようアピールする必要があります。

営農対策情報

根室農業改良普及センター

今年の牧草収穫を振り返る ～品質を予測した対応を進めるために

今年是一年草収穫時期の長雨と低温により、牧草品質・量に不安が残る年となりました。すでに今年度産粗飼料の給与を開始されている方も多いと思いますが、今後予測される事態に備えて、品質のいち早い診断と対策の検討を進めていく必要があります。

一. 今年度産粗飼料で懸念されること

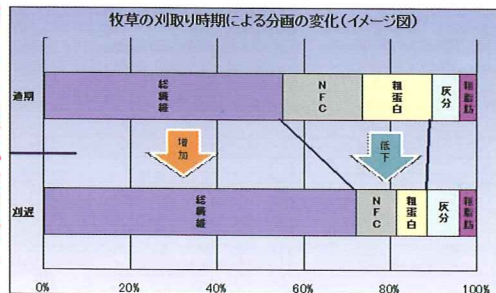
天候条件、収穫状況を振り返ると、以下の点が心配されます。

- ① 収穫期間の長期化↓刈り遅れによる栄養価の低下
 - ② 高水分原料調製によるサイレージ発酵品質の低下
 - ③ 追肥遅れによる二番草収量の低下
- 一番草品質・二番草収量の低下が、生産性に影響を及ぼすことが懸念されます。

二. 収穫の遅れによる品質影響

- ・ 牧草収穫が、適期である出穂期から遅れるに従い、
- ・ 牧草中繊維割合が増加
- ・ 高栄養成分(蛋白・NFC)が低下
- ・ 高消化性繊維割合の低下

不消化部分の割合が増加し、栄養的価値と採食量が同時に低下していきます。(イメージ図)



三. 刈り遅れ牧草に 対応した給与対策のポイント

栄養の不足分として濃厚飼料をこれまで以上に給与すると、粗濃比のバランスが崩れ、乳牛の健康面に影響が出る可能性があります。これらを考慮した給与対策を検討する必要があります。

があります。

- ・ 粗濃比のバランスに注意し、蛋白の補給に努める

- ・ デンプン価が低めの高エネルギー飼料を増給する

- ・ 反芻性があり、高い採食量を見込める飼料を給与する

- ・ 二番草を積極的に活用する
- ・ 最大限採食量を高める努力を進める

牛への負担を抑えつつ栄養を充足させるために、繊維質飼料を中心に増給を進める必要があります。

四. 粗飼料の品質別 対応を!

手持ち粗飼料の品質傾向

刈り遅れが問題の場合	発酵品質が問題の場合
<ul style="list-style-type: none"> ・ 機能性繊維は必要量摂取可能 ・ 消化性繊維の確保を最優先する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給与量の制限が必要かもしれない ・ 機能性繊維の確保を最優先する
<p>↓</p> <p>ビートパルプ、ルーサンペレット、ビール粕等の増給を検討</p>	<p>↓</p> <p>ルーサンヘイ、その他購入粗飼料の増給を検討</p>



スタックサイレージの品質を確認している様子

粗飼料分析値の見方、給与メニューの具体的検討等、普及センターまでお気軽にご相談ください。

五. 給与メニューを 具体的に検討するに 当たり...

給与方法の具体的検討は、農場ごとに、状況に合わせておこなう必要があります。

- ・ 粗飼料分析を実施し、品質を把握しましょう
- ・ 乳牛の状態、粗飼料採食量、乳検成績等をモニタリングして状況判断をしましょう。

牛肉試食と販売は大好評でした！

Ａコープ収穫祭に併せ青年部（部長・石森裕治）では、毎年恒例となっており、牛肉の試食販売を10月21日に行いました。

当日は晴天にも恵まれ、Ａコープ収穫祭の買い物とも重なり多くの方で賑わいました。

生産者と消費者との交流を通じて畜産物に関する正しい知識の普及や消費拡大促進を目的とし、今年もチクレン牛肉の試食会及び販売を実施しました。

今回は牛ロース5kg、牛サガリ3kg、牛ハンバーグ、骨付きソーセージが試食用に用意されました。

店舗収穫祭



会場では手際よく慣れた手つきで試食用の牛肉を調理する青年部員の姿が見られ、こんがり焼きた上がった肉は「とても美味しそう」。会場には牛肉の焼きあがる香ばしい香りが広がり、会場を訪れた人は焼きたての牛肉に舌鼓、「美味い！」と大好評でした。販売も好評でお昼過ぎには完売となりました。参加された部員の皆さんお疲れ様でした。

女性部ではＡコープ収穫祭と併せて毎年行われています消費拡大運動として、乳製品を使った料理の無料配布と乳製品即売を10月21日に行いました。

今回の料理は昨年同様ミルク豚汁、コーヒー牛乳、甘酒に加えて生キャラメル、趣味の会からチーズたこ焼きを作ってもらい、5品を無料配布しました。昨年もお好評いただきましたミルク豚汁ですが、今年は牛乳の量が少し多いのと手作りバターが入っています。気づいた方はお早めでしょうか？ 出店して早いうちからお客さんが集まり、乳製品即売で人気の高



い「とろとろプリン」も早くに売り切れてしまい、オランダ煎餅も好評でした。

当日は晴天に恵まれながらも風が強く、外でたこ焼きができない！というハプニングもありましたが、皆さんの力で無事に収穫祭を終える事ができました。

毎年開催されています行事ですが、来年も続けていきたいと思っております。

人気の高い乳製品料理に品切れ続出！

女性部では10月1日から3日にかけて1泊2日・5人、2泊3日・11人の計16人の参加者が札幌へ研修旅行に行ってきました。



美味しいものをいただきながら 充実した研修旅行

当日は中標津空港から札幌へ向かい丘珠空港到着後は貸切バスで移動し、途中、チクレンミートの工場で作っているソースを使って料理を出している「びつくりドッキング」で昼食をとりました。

北海道チクレンミート工場では、三上社長から牛肉流通システム、組織概要の説明をしていただき、スライドを見た後は商品(ローストビーフ、ローストポーク、チャーシュー、ポークジャーキー)を試食し、山口次長から説明をいただきました。

商品の話から家庭で牛肉料理が美味しく出来るコツなども教えていただき、充実した視察になりました。夕方には札幌ドームで(日本火腿ファイターズ対オリックスバッファローズ)野球観戦。テレビでは味わえない迫力と連帯感に思わず応援にも力が入ります。参加した皆さん、お気に入りの選手ユニフォームや応援グッズをたくさん買っていました。



女性部のページ



2日目はチョコレートファクトリーの見学に行きました。お菓子を製造している工場内やチョコレートの歴史、喫茶店など甘い香りがする少しお洒落な工場内を楽しみました。

自由時間は皆さんそれぞれ家族にお土産を買ったり、札幌周辺にいる家族に会ったりするなど札幌での時間を有意義に楽しまれ、無事に2泊3日の研修旅行を過ごすことができました。参加されたみなさん大変お疲れ様でした。



木の実部会



木の実部会では9月30日に中春別ヘルスパークにて、パークゴルフ交流会を開催いたしました。

当日は晴天に恵まれる中、交流会には8人が参加され優勝を競いました。

参加者は自前のクラブとボールを手に「今年初めて!」と話しな

仲間とパークゴルフを
楽しみました



がらも力強く玉を打ち、のびのびとパークゴルフを堪能することができました。

全員元気にホールアウトし、賞品を手に皆さんとても満足顔でした。昼食はいつものように賑やかにお喋りを楽しみながら、仲間との時間を有意義に過ごしました。

パークゴルフ交流会

女性部のページ

手づくりのパンに挑戦しました

フレッシュミセス



フレッシュミセス部会では別海町加工体験施設で10月6日、パン作りに挑戦しました。今回作ったパンは、クロワッサン、ベーグル、メロンパン、あんパン、クリームパン、ピザロール、カステラの7種類です。

生地づくりから始めて発酵させるのにしばらくの間生地を寝かせ、その後あんこやクリームを詰めたり、メロンパンだとパンの上の甘い部分を付けたり、クロワッサン



は生地とバターを重ねたものを伸ばし、1回たたくてまた伸ばす作業を何回か繰り返しました。

少し手間がかかりますが、あまりパン作りを体験したことのない人は上手い人を手本にし、みるみるうちに調理室にはいい香りが漂いました。

生地作りを始めてから4時間程かけ皆さん楽しそうにパン作りに励み、自分たちで作ったパンは「とても美味しい」ものに出上がったのではないのでしょうか。出来たてのパンは家族へのいいお土産にもなりました。

パン作り

花コンテスト 結果発表

6月号組合だよりで参加者を募集いたしました「緑・花いっぱいコンテスト」作品募集に、多くの方から応募がありました。9月末日で締め切り厳正な審査の結果、次の方々選ばれました。参加してくださいました皆さん大変ありがとうございました。

最優秀賞 小湊 梅子さん
優秀賞 野矢 千鶴さん
優秀賞 菅原スズ子さん
審査員特別賞 金子 一雄さん



▶最優秀賞・小湊梅子さん



▶優秀賞・菅原スズ子さん



▶優秀賞・野矢千鶴さん



▶審査特別賞・金子一雄さん

最優秀賞に選ばれた方に花とみどりの賞金10000円を贈呈。優秀賞2人の方、審査員特別賞の方には賞金5000円をお贈り致します。惜しくも入賞を逃した方には参加賞をプレゼント致しますので入賞者、該当者の方は事務局までお問い合わせください。
(中春別農協女性部事務局・鈴木)

「とても助かります」と感謝

ボランティア組織「そよかせ」

ボランティア組織「そよかせ」では、「出来ることから」を基本に活動を行ってききました。ウエス寄付活動は、たくさんの方からの協力で集まった衣類やシューズなどを裁断し、必要な施設に寄付をし、また役立ててもらおうという活動です。

今回は10月8日に女性部との協力のもと、特別養護老人ホーム「清翠園」、「中春別農協給油所」に寄付をさせていただきました。特別養護老人ホーム「清翠園」では利

ウエスの寄付活動



用者の方と直接お会いし、ウエスを贈呈させていただきました。「ウエスはとても使うのでこのような寄付はとても助かります」と言われとても感謝されました。また、「中春別農協給油所」では、車両整備に利用することが多いということ喜んでいただけました。見返りを求めないのがボランティアとはいいますが、感謝の気持ちと喜んでいただけることが会員の活動の励みになります。

ボランティア組織「そよかせ」はウエス寄付活動の他にも、お誕生日カードの送付・声かけ運動などを行っていますので活動に興味のある方、加入したい方はお気軽に中春別農協営農振興課までご連絡ください。

見て、触れて学ぶ

神奈川県立生田東高等学校酪農体験

一昨年に引き続き神奈川県立生田東高等学校2学年234人の生徒が根室管内を訪れ、10月8日から10日まで2泊3日の行程で管内各農協での酪農体験をしました。当地区には29人の生徒が訪れました。



ておりました。受入期間中、大型台風が北海道に接近し、天候は最悪な状況。北海道を満喫できない中、2泊3日の酪農研修終了となりました。大変でしたが、生徒達にとつて貴重な体験となったのではないかと思います。最後になりましたが、受入にご協力いただきました組合員の皆様はじめご家族の皆様にお礼申し上げます。

当日は中標津町総合文化会館「しるべつと」にて参加生徒が集い受入式が行われた後、それぞれバスに別れて各受入地区へ移動。

当農協前に到着後、受入式を行い生徒達を受入てくれる農家宅へと移動し酪農体験のスタート。

作業着、長靴を身につけ何もかもが初めてづくしの中、初めて見る牛の迫力に驚きながらも作業を手伝っ



労災保険について

農作業事故防止に努めましょう

平成18年4月から平成21年9月の3年5カ月の間に、JA中春別地区労災保険加入者の農作業中の事故数は127件にもなりません。月平均すると1カ月に3人程の方が事故に遭われていることとなります。図1の過去の事故状況でもわかる

ように、19年が53件と最高の事故件数でしたが、昨年の1年間の事故件数が24件に対し、今年9月末までの事故件数が21件にもなっています。事故の多くは牛との接触により起こっています。なかでも「牛に蹴られる、踏まれる、挟まれる」が多く、骨折などの大事故も年々増えつつあります。毎日行っている作業、慣れ

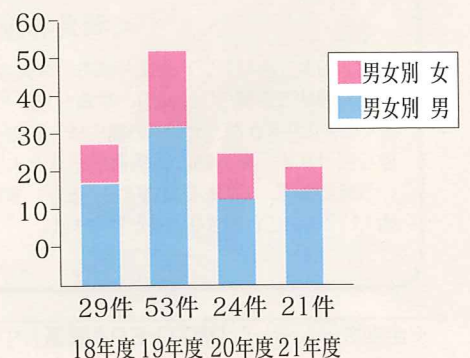
ている作業でもちょっとした油断から大事故につながることもあります。牛、馬などの接触作業、高所での作業、足場が滑りやすいなど悪条件での作業など労災事故の原因となるものを今一度確認し、安全な農作業を心がけましょう。

事故後の対応について

補償は労災加入者が自ら請求するものであり、請求がない場合は補償を受けることができません。事故に遭った場合は必ず農協経営相談課(7612241)に連絡し、給付請求の手続きを行うようにしてください。

図1 年度別農作業事故による労災保険適用件数

年度別	事故件数	男女別	
		男	女
18年度	29件	19	10
19年度	53件	33	20
20年度	24件	11	13
21年度	21件	15	6



金融共済課からのお知らせ

10月19日に行われました一日皆貯金におきまして、職員が各ご家庭を訪問し一日皆貯金の推進を行い、皆様のご協力で6,950万円の貯金額となりました。

ご協力いただきました皆様方に心よりお礼申し上げますとともに、今後も皆様の生活にお役に立てる「JAバンク」として頑張りますので、宜しくお願い致します。

WTO・EPA つぼの壺



● WTO非公式閣僚会合とG20金融サミットの結果 ●

9月3～4日、インドのニューデリーでWTO非公式閣僚会合が開催され、今後の交渉をどのように進めていくか議論が行われました。また、同月24～25日、米国のピッツバーグでG20金融サミットが開催され、ドーハ・ラウンドの2010年中の合意を追求していくことが改めて確認されました。今月号では、両会合の概要をお伝え致します。

<WTO非公式閣僚会合(※1):インド>

【参加国】 35ヶ国(米国、EU、中国、他)

【会合のポイント】

- ドーハ・ラウンド交渉を再活性化させる。
- スイスのジュネーブにおいて、高級事務レベル会合(※2)を再開させる。
- 交渉は、昨年12月までの成果を土台とする。
- 二国間協議(※3)が果たす役割

を議論。

<G20金融サミット:米国>

【参加国】 25ヶ国(米国、EU、中国、他)

【サミットのポイント】

- ドーハ・ラウンドの2010年中の合意を追求。
- 次回のG20金融サミット(2010年6月予定)で交渉の進展を評価。

を議論。



WTO非公式閣僚会合とは?(※1)

WTO加盟国のうち、不定期に一部の関心国の閣僚レベル(大臣)が集い、WTO交渉の進捗状況や今後の取り組みについて非公式に議論する会合。この会合は、参加国相互の理解を深め、交渉の進展に役立てることを目的としており、何らかの合意を行う会合ではない。



高級事務レベル会合とは?(※2)

政府高官による会合。細かなことを整理していく会合であり、政治的決断をとまなう大きな案件については、閣僚レベルに委ねられる。

二国間協議について(※3)

二国間協議とは、その名の通り、「日米」や「日本とEU」など、2つの国・地域で交渉を行うことを指します。

なぜ、二国間協議を行うか?

私たちが仕事をするにあたり、始めは関係者間で個別に相談し、意見を聞き、課題を解消していきます。その後、皆の同意を図る仕事の進め方を行います。

WTO交渉においても、以前から二国間協議は交渉を加速させるために行われてきました。



二国間協議の問題点

WTOには、153ヶ国が加盟しております。二国間協議を推進し、例えば先進国同士で物事を決めていった場合、自らの意見を十分に反映できない途上国がでてきます。

そのため、一部の途上国は、二国間協議の推進に反対しております。

<考える部屋>

先日、日本を含むアジア地域の棚田の写真集を見ました。夜間に、たいまつを焚いた幻想的で素晴らしい棚田の写真もありました。日本とアジアの棚田風景は、良く似ておりますが、アジアの棚田は、畦道や灌漑設備の整備が不十分である印象を受けます。農産物の貿易自由化云々よりも、世界で農産物の生産に困っている農業者を、協力して支援することが、食料不足が叫ばれる今、優先的に取り組まれるべきことではないかと考えます。



インドネシアの棚田



議案
平成21年10月26日(月)

1. 北海道常例検査に伴う指摘事項の回答について
2. 平成21年度下半期余裕金運用計画額および運用方針について
3. 諸規程の改正について
4. 固定資産の取得について
5. 固定資産の実査について
6. 平成22営農年度営農

基本方針(案)について

7. 平成21営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
 8. 生乳汚染賠償責任保険契約先の変更について
 9. 北海道指導農業者士の推薦について
- 以下、原案通り承認

報告事項

1. 平成21年度9月末定期監査の講評について
2. 組合員加入について
3. 組合員の脱退予告について
4. 平成21年度9月末財務状況について
5. 平成21年度9月末基準決算見直しについて
6. 一日皆貯金の実績について
7. 根室管内JA合同年末貯金キャンペーンの実施について
8. 平成21年度JA共済コンプライアンス点検結果について
9. 不祥事未然防止対策会



10. 議の総括について
 11. 平成21年度9月末購買事業実績について
 12. 平成21年度9月末購買品棚卸結果について
 13. 平成21年度9月末営農生産関連実績について
 14. 第26回「菊と緑の会inべつかい」の実施結果について
- 平成21年度糞尿利活用草地整備改良事業に係る実績について

9月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

9月分乳代支払単価

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	
乳脂肪分		792.765		31.14	28.96	2.18	
無脂乳固形分		503.111		43.82	40.90	2.92	
補給金		3.3204		3.32	3.27	0.05	
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	304,392,402.7kg	3.68	3.66	0.02
		ランク2	0	5,699,169.7kg			
		ランク3	-3	300,674.4kg			
	体細胞数	ランク1	2	256,929,207.0kg			
		ランク2	1	29,133,153.8kg			
		乳質向上	ランク1	-2			
特別対策	ランク2						
合計				81.96	76.79	5.17	

項目	単価(円)/kg %
乳脂肪分①	31円14銭
無脂乳固形分②	43円82銭
補給金③	3円32銭
チーズ奨励金④	
脂肪率	全道 3.93%
	農協 3.93%
無脂固形分率	全道 8.71%
	農協 8.67%
成分乳価	全道 78円28銭
①+②+③+④=⑤	農協 78円05銭
乳質乳価	全道 3円68銭
⑥	農協 3円59銭
乳代合計	全道 81円96銭
	農協 81円64銭
⑤+⑥	差異 -32銭



アオダモ

身近な樹木に触れ、名前を知り
自然ともっと仲良くなろう

山地に生える落葉樹で木の高さは12m～13mまでで、ヤチダモの半分くらいの大きさにしかありません。分布は日本、南千島、朝鮮の冷温帯に分布します。特に本道の太平洋沿岸の丘陵地に多く分布しています。

タモという名の由来は、古来樹霊信仰の対象となる大喬木(きょうぼく=高い木)にこの名が使われていることが多くタモは霊=タマの意味か？ また、トネリコ(モクセイ科の落葉高木)の仲間の材は極めてねばりが強く曲げても折れない「たむ木」であることからタムキ→タモノキ→タモとなったという2つの説があります。

アオダモの「アオ」は樹皮を水に入れると青くなることから由来しています。別名コバノトネリコとも呼びます。材質はやチダモよりも重硬・強靱であることからプロ野球選手の多くはこのアオダモのバットを使っています。また、家具材のほかテニス、バトミントンのラケット枠材などの運動用具、器具材としても使用されています。雄の木(雄花)と雌の木(両性花)があり、雄花・両性花ともに花びらは白色で、細長い4枚の花びらをもち、優雅な花が咲きます。開花は6月です。



ニューフロンティアファームの樹木図鑑より転載・抜粋

編集後記

▼日々色づいていく紅葉も朝晩の冷え込みで終わりを告げようとしています。同じ景色でも季節によつていろいろな顔をみせ、あらためて自然の豊かさを、広葉樹の大切さについて考えさせられます。皆さんのお宅では、そろそろストーブをつけているところもあるのではないのでしょうか。これからは鍋を家族で囲んで、熱燗のお酒がおいしい時期になってきましたね。

▼さて、毎日のように新聞、テレビなどで取り沙汰されています。新型インフルエンザの感染者が当地区でも増えてきています。外出するときはマスクを着用し、帰宅したら手洗い、うがいなど予防に心がけて体調管理には充分にご留意願います。

▼今月号では、美原地区で開催されました50周年式典を掲載させていただきました。地域の歴史を振り返ると共にこれからの発展を願い、多くの方々が出席され盛大に執り行われました。歴史、文化を絶やさず後世に継承し益々のご発展を祈念いたします。